

## 三重県子ども条例に基づく施策の実施状況等の報告について

この報告は、三重県子ども条例（以下「条例」という。）第 15 条の規定に基づき、子ども施策の実施状況について、「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン（以下「みえ子どもスマイルプラン」という。）」の 14 の重点的な取組の実績等とともに取りまとめ、年次報告「みえ子どもスマイルレポート」として公表するものです。

子ども施策に関する実施状況については、施策の基本となる 4 つの事項（条例第 11 条）別に整理しました。

また、「みえ子どもスマイルプラン」については、14 の重点的な取組ごとに、重点目標の実績値等をふまえた進展度と判断理由、平成 28 年度の取組概要と成果および平成 29 年度の改善のポイントと取組方向を記載しています。

### 1 条例に基づく施策の実施状況（別冊 1 P3）

#### （1）子どもの権利について学ぶ機会の提供等（第 11 条第 1 号）

条例に基づく取組について、県民の方がより一層理解を深め、子どもの育ちへの支援を学んでいただけるようにチラシを作成し直しました。

また、子どもの育ちや子育て家庭を応援するイベント「子育て応援！わくわくフェスタ」や小学生の県庁見学などでチラシを配布して説明するなど、様々な機会を捉えて啓発活動を行いました。

#### （2）子どもが意見表明する機会の設定等（第 11 条第 2 号）

県の施策に子どもの意見や状況を反映させるため、子どもを対象にインターネットを用いた電子アンケートに回答していただく「キッズ・モニター」や、「ありがとう」をテーマにした「家族の絆 一行詩コンクール」を実施しました。

#### （3）子どもが主体的に取り組む様々な活動の支援（第 11 条第 3 号）

高校生が日頃の学習や文化活動等の成果を情報発信する「高校生フェスティバル」の開催や、家庭を巻き込んだ環境保全活動を推進するため「キッズ ISO14000 プログラム」に取り組みました。

#### （4）子どもの育ちを支える人材育成、環境整備（第 11 条第 4 号）

社会全体で子どもや子育て家庭を支える地域を実現するため、企業や子育て支援団体等が参画する「みえ次世代育成応援ネットワーク」の活動を促進し、子ども専用電話相談「こどもほっとダイヤル」の運営を行うとともに、地域における子育て家庭を支える人材を養成するため「子育て・子育てマイスター養成講座」や「孫育て講座」を市町と連携して実施しました。

## 2 「みえ子どもスマイルプラン」の重点的な取組に係る進捗状況（別冊1 P9）

### （1）取組状況と進展度等（別冊1 P9～13）

平成28年度も、平成26、27年度に引き続き、三重県経営方針の中で、少子化対策を県政の重点テーマとして位置づけ、多様な主体で構成される三重県少子化対策推進県民会議とも連携し、少子化対策を進めるための機運醸成を図るとともに、「子ども・思春期」、「若者／結婚」、「妊娠・出産」、「子育て」に「働き方」も含めたライフステージ毎に、切れ目のない取組を進めました。

14の重点的な取組の進展度について、取組の進行管理を行うために設定した「重点目標」の達成度合いや取組実績等により、総合的に判断した結果、「進んだ」と評価した取組は6項目、「ある程度進んだ」は7項目、「あまり進まなかった」は1項目で、「進まなかった」は該当ありませんでした。

また、みえ子どもスマイルプラン全体を包含する2つの「総合目標」のうち、「合計特殊出生率」については、平成28年は1.51（概数）で、直近の20年間で最も高かった平成27年の1.56より0.05下がったものの、2年連続して1.5台を維持しており、平成16年の1.34を底に回復傾向にあります。また、「地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合」は、平成28年度が52.1%で平成27年度より1.3ポイント低下しました。

### （2）28年度の総括（別冊1 P13）

平成28年度のみえ子どもスマイルプランに基づく少子化対策の取組については、重点的な取組の全体的な進捗状況から、「ある程度進んだ」と考えられますが、2つの総合目標については依然として目標水準とかい離があることや、少子化対策は成果が現れるまでに一定の期間を要することから、めざすべき社会像の実現に向けて、ライフステージごとに切れ目のない対策を継続・強化するとともに、企業や大学、市町等との協創をより重視し、取組を進める必要があります。

## 3 今後の取組（別冊1 P48）

条例については、今後も、啓発冊子や様々なイベントを活用して、その趣旨を広く啓発するとともに、関係機関とも連携しながら、子どもの権利について学ぶ機会を確保していきます。

また、子どもが意見を表明する機会を確保し、様々な取組に反映していくよう努めるとともに、子どもの気持ちに寄り添いながら、様々な活動支援を行い、企業や団体、関係機関等と連携を図りながら人材の育成や環境整備を進めていきます。

さらに、「みえ子どもスマイルプラン」に基づき、「結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、すべての子どもが豊かに育つことのできる三重」の実現に向けて、関係団体、企業、市町等の協力を得ながら、ライフステージ毎に切れ目のない取組を進めていきます。